

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第59集

市内遺跡発掘調査報告書 1996

1998. 3

佐久市教育委員会

例 言

1 本書は、1996年度（平成8年度）において個人住宅、民間開発及び公共開発に係る試掘調査並びに立ち会い調査を実施した市内遺跡発掘調査報告書である。

2 事務局の構成

1997年度（平成9年度）

○発掘調査受託者 教育長 依田 英夫

事務局

	教 育 次 長	市川 源
埋蔵文化財課	課 長	須江 仁胤
	管 理 係 長	棚沢 慶子
	埋蔵文化財係長	大塚 達夫
	埋蔵文化財係	林 幸彦、三石 宗一、須藤 隆司、小林 眞寿、 羽毛田卓也、富沢 一明、上原 学
	調 査 主 任	佐々木宗昭、森泉かよ子

3 各遺跡の執筆は発掘調査担当者が行い、編集は小林が行った。

4 本書掲載の関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管してある。

目 次

1	棧敷遺跡	(1)	28	長土呂遺跡群	(40)
2	円正坊遺跡群	(3)	29	中西の久保遺跡群	(42)
3	常田居屋敷遺跡群	(4)	30	一本柳遺跡群	(44)
4	常田居屋敷遺跡群	(5)	31	跡坂遺跡群	(45)
5	城下遺跡群	(7)	32	鳴澤遺跡群	(46)
6	中原遺跡群	(9)	33	岩村田遺跡群	(48)
7	下前田原遺跡群	(10)	34	北谷津遺跡	(49)
8	跡坂遺跡群	(12)	35	滝遺跡	(50)
9	番屋前遺跡群	(13)	36	枇杷坂遺跡群	(52)
10	中込児童館	(14)	37	棧敷遺跡	(53)
11	円正坊遺跡群	(15)	38	地ヶ入遺跡	(54)
12	中金井遺跡群	(16)	39	中原遺跡群	(55)
13	番屋前遺跡群	(17)	40	岩村田遺跡群	(57)
14	坪の内遺跡	(18)	41	上小平遺跡	(58)
15	岩村田遺跡群	(19)	42	周防畑遺跡群	(59)
16	栗毛坂遺跡群	(20)	43	藤塚遺跡	(61)
17	中道遺跡	(21)	44	曾根城遺跡	(62)
18	西大久保遺跡群	(22)	45	大塚遺跡群	(64)
19	一丁田遺跡	(23)	46	東大久保遺跡群	(65)
20	寺畑遺跡群	(27)	47	国蔵山古墳(隣接)	(66)
21	枇杷坂遺跡群	(29)	48	円正坊遺跡群(隣接)	(67)
22	周防畑遺跡群	(30)	49	上の城遺跡群	(68)
23	枇杷坂遺跡群	(32)	50	棧敷遺跡・西大久保遺跡群	(69)
24	矢澤遺跡	(34)	51	根々井大塚古墳	(70)
25	中道遺跡	(36)	52	光明寺遺跡	(71)
26	鑄師屋遺跡群	(38)	53	根々井居屋敷遺跡	(72)
27	岩村田遺跡群	(39)	54	前出遺跡群	(74)

付表 1996年度市内遺跡発掘調査一覧表

付図 1996年度市内遺跡発掘調査位置図

試掘調査

1 棧敷遺跡

所在地 佐久市大字安原字棧敷1516-1,1514-1

開発主体者 昭和不動産（株）

開発事業名 「昭和ニュータウン安原」造成

調査期間 平成8年4月4日

面積 1,589㎡

調査担当者 羽毛田卓也



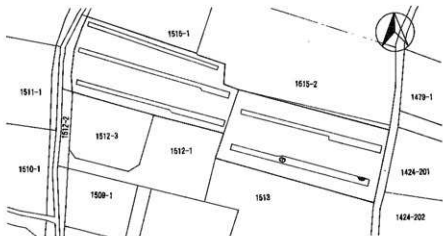
棧敷遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

棧敷遺跡は湯川を西に臨む帯状微高地西端に展開する平安時代の遺跡である。今回の調査地点は遺跡のほぼ中央に位置する。今回昭和不動産株式会社が宅地造成をを計画したため、事前に試掘調査を行うこととなった。

調査の結果

調査区の東西方向に5本のトレンチを掘削した。トレンチはいずれも表土が浅く、45～50 cm 剥いだところで黄褐色ローム層に到達した。各トレンチを精査した結果、1本のトレンチから縄文土器を伴った径1.2m前後の円形土坑が2基検出された。また各トレンチより、剥片石器・陶器・土師器片が出土した。



棧敷遺跡トレンチ設定図 (1:1,000)



棧敷道跡トレンチ掘削状況

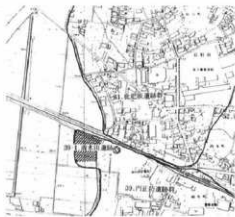


棧敷道跡トレンチ掘削状況

試掘調査

2 円正坊遺跡群 円正坊遺跡

所在地 佐久市大字岩村田字円正坊1292-1他
開発主体者 中部電力株式会社
開発事業名 送電鉄塔建て替え工事
調査期間 平成8年4月22日
面積 216㎡
調査担当者 富沢一明



円正坊遺跡位置図(1:10,000)

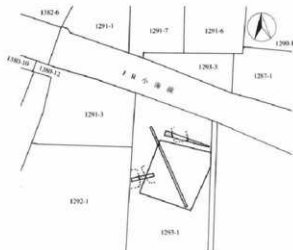
立地と経過

円正坊遺跡Ⅱが含まれる円正坊遺跡群は、浅間山の火砕流により形成された台地が低湿地と接する台地縁辺に所在し、過去調査が行われた遺跡として清水田遺跡がある。遺跡周辺は北陸新幹線「佐久平駅」建設にともない大規模な区画整理事業が進みつつある。

今回、中部電力株式会社によって、遺跡群内にある送電鉄塔建て替え工事が計画され、事前の試掘調査を行うこととなった。

調査の結果

既存鉄塔部分と拡張部分にそれぞれトレンチを設定し調査を行った。その結果、既存の鉄塔部分はすでに遺構面下まで削平され、遺構は存在しなかった。拡張部分においては弥生時代と平安時代の竪穴住居址4軒が検出された。この結果を受け保護協議を行ったが、設計変更は難しく発掘調査を実施する運びとなった。



円正坊遺跡調査全体図(1:1,000)



トレンチ掘削状況(東より)

試掘調査

常田居屋敷遺跡群

3 常田居屋敷遺跡

所在地 佐久市大字塚原字長塚1036-3他

開発主体者 佐藤三千男

開発事業名 アパート建設

調査期間 平成8年4月24日

面積 1,575㎡

調査担当者 富沢 一明



常田居屋敷遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

常田居屋敷遺跡群は佐久市の塚原地籍のほぼ中央に所在し、周辺には浅間山の火砕流による「流れ山」と呼ばれる残丘が高状に点在している。周辺部の調査された遺跡としては、藤塚遺跡、藤塚古墳群、鉦石遺跡などがある。なお、当遺跡群周辺では、佐久市域では未だ検出例が少ない古墳時代前期の遺構が密集する地域であり注目を集めている。

今回、佐藤三千男氏によってアパート建設が計画され、遺跡群内である為、試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

開発対象地に計6本のトレンチを設定し調査をおこなった。その結果遺構は確認されなかった



トレンチ掘削状況 (東より)

常田居屋敷遺跡調査全体図(1:1,000)

試掘調査

4 常田居屋敷遺跡群

(赤岩弁天池)

所在地 佐久市大字塚原字屋敷403-1

開発主体者 池田 教一

開発事業名 赤岩弁天池浚渫工事

調査期間 平成8年4月24日

面積 1,461㎡

調査担当者 羽毛田卓也



立地と経過

常田居屋敷遺跡群は佐久市西北部に展開する弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の調査地点は、遺跡群東端の赤岩弁天境内に現存する弁天池である。今回池田教一氏により赤岩弁天池の浚渫工事が計画されたため試掘調査を実施した。

調査の結果

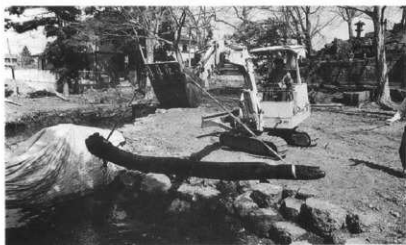
池の底の土砂を取り除いた結果、江戸時代の創建時に使用されたと推測される修羅の部材2本(長さ4m)が出土した。各々2ヶ所ほぞ穴が穿たれているところから横木のようなものでそり状に組まれていたと考えられる。他に江戸時代から現代にかけての陶磁器の破片が多量に出土した。



修羅引上状況



修羅引上状況



修羅引上状況

試掘調査

5 城下遺跡群

所在地	佐久市大字内山字城下5750
開発主体者	宗教法人長福寺
開発事業名	墓地造成
調査期間	平成8年5月16・17日
面積	897㎡
調査担当者	羽毛田卓也



城下遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

城下遺跡群は、内山城跡直下の南西傾斜面上に展開する古代から中世にかけての複合遺跡である。今回の調査地点は斜面の東端・内山城登山口に位置する。付近の南西斜面は段曲輪状に平坦面がいくつも造られ、畑や宅地となっている。今回宗教法人長福寺による墓地造成が計画されたため試掘調査を行った。

調査の結果

調査地に4本のトレンチを掘削した。表土を22~28cm剥いだところで炭化材微小片とパミス・安山岩類小礫を微量含む人為的黒色層が現れた。その面を精査した結果、五輪塔(地輪部)と土鍋片が出土したものの遺構は検出されなかった。さらに黒色層を20~42cm剥いだところ地山である山体崩落層が現れた。その面を精査した結果、縄文土器片と石器剥片が出土したが遺構は検出されなかった。また調査区中央南北方向に斜面を掘削し平坦面を造成していることが明らかになった。



トレンチ掘削状況

試掘調査

6 中原遺跡群10

所在地 佐久市大字今井字大塚

119-1・2,122

開発主体者 磯部 清・磯部やえ子

開発事業名 共同住宅建策

調査期間 平成8年5月25・26日

面積 1,024m²

調査担当者 林 幸彦



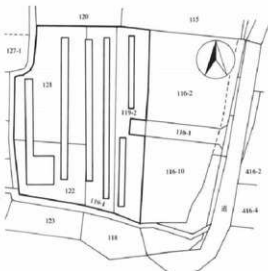
中原遺跡群10位置図 (1:10,000)

立地と経過

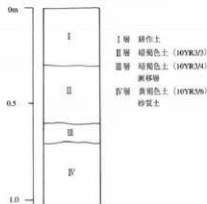
中原遺跡群は、中込っ原の津上製作所から三河田の集落にかけて展開する。滑津川との比高25mを測る。1987・1988・1996年に梨の木遺跡が調査され中世の遺構・遺物が検出されている。今回、三河田大塚の西脇に共同住宅



中原遺跡群10調査地点近景 (北から)



中遺跡群10調査全体図 (1:1,500)



中原遺跡群10土層柱状図

が建設されることになり試掘調査を実施した。
トレンチ6本を精査したが遺構遺物とも検出されず、僅かに中世陶器1片が表面採集された。

試掘調査

7 下前田原遺跡群

所在地 佐久市大字小田井字長野原497-1,489-5

開発主体者 (株)藤総業

開発事業名 工場造成

調査期間 平成8年6月4日

面積 2,001m²

調査担当者 羽毛田卓也



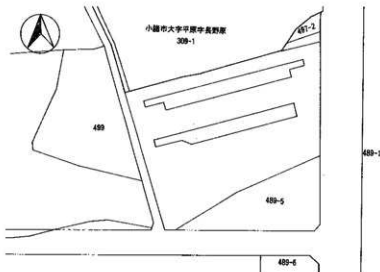
下前田原遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

下前田原遺跡群は佐久市の最北端に展開する縄文・奈良・平安時代の複合遺跡である。今回の調査地点は遺跡群の西端に位置する。今回株式会社藤総業が工場造成の計画により試掘調査を実施した。

調査の結果

調査地の東西方向に幅2mのトレンチを2本掘削しました。表土を45～58cm剥いだところで1～3cm大のバミスを含む明黄褐色ローム層が現れ、精査を行ったが遺構・遺物ともに検出されなかった。



下前田原遺跡群トレンチ設定図



トレンチ掘削状況



トレンチ掘削状況

試掘調査

8 跡坂遺跡群

所在地 佐久市大字横根字南海老950-1外

開発主体者 有限会社 新栄開発

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年6月5日

面積 1,858㎡

調査担当者 須藤 隆司



跡坂遺跡群 位置図(1:10,000)

立地と経過

跡坂遺跡群は佐久市大字横根地籍に所在し、湯川を東・南方向に臨む火砕流台地上に立地する。本遺跡群では、弥生時代から平安時代の遺物が分布調査で確認されている。

今回、有限会社新栄開発が本遺跡群内に宅地造成事業を計画したため、試掘調査を実施した。



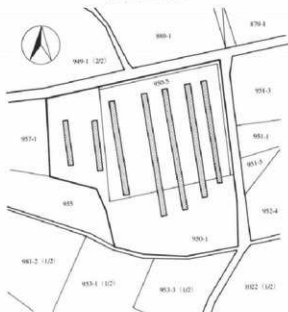
跡坂遺跡群 調査トレンチ

調査の結果

右図のトレンチ7本を開発事業地内に設定して、遺構・遺物の確認調査を行った。

土層の堆積状況は、耕作土・30cm程の黒色土・10cm程の漸移層・地山の浅間第一軽石流であり、北方に緩やかに傾斜する地形を成していた。

調査の結果は、遺構・遺物ともに確認されなかった。



跡坂遺跡群 調査全体図(1:1,000)

試掘調査

番屋前遺跡群

9 番屋前遺跡 I

所在地 佐久市大字猿久保字前原

790-1,791-1,792-3,785-10

開発主体者 株式会社 ほしまん

開発事業名 店舗建設

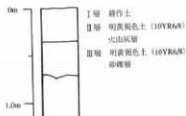
調査期間 平成8年6月5日

面積 2,593㎡

調査担当者 林 幸彦

立地と経過

番屋前遺跡群は、通称佐久市の中込っ原の北東端部に位置している。この台地は、浅間火山第一軽石流堆積物の水成層に覆われている。今回、株式会社ほしまんが店舗を建設することになり試掘調査を実施した。溝状遺構が2本検出された。保護協議の結果、記録保存調査を行うことになった。



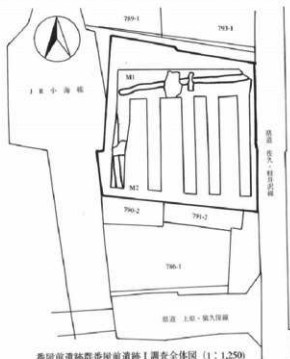
番屋前遺跡群番屋前遺跡 I 土層柱状図



番屋前遺跡群番屋前遺跡 I 調査近景 (北西から)



番屋前遺跡群番屋前遺跡 I 位置図 (1:10,000)



番屋前遺跡群番屋前遺跡 I 調査全体図 (1:1,250)

試掘調査

10 未周知

所在地 佐久市大字中込字三反田
484-1,490

開発主体者 佐久市厚生課

開発事業名 児童館建設

調査期間 平成8年6月6日

面積 1,461㎡

調査担当者 林 幸彦



中込字三反田調査地点位置図 (1:10,000)

立地と経過

試掘調査対象地は未周知の埋蔵文化財包蔵地である。対象地は、小海線中込駅から東京電力千曲川調整地にかけて北西に長くのびる千曲川と滑津川に挟まれた自然堤防上にある。付近からは土師器や縄文土器片などが、まれに採集されることがある。今回



中込字三反田調査地点近景 (北東から)



中込字三反田調査全体図 (1:1,500)



中込三反田調査地点土層柱状図

厚生課で児童館を建設することになり、試掘調査を施した。

トレンチ3本を精査したが遺構遺物とも検出されなかった。

試掘調査

11 円正坊遺跡群 2

所在地 佐久市大字岩村田字田中1321
開発主体者 (株) 平和不動産
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成8年6月26日～6月28日
面積 1,426㎡
調査担当者 富沢 一明



円正坊遺跡群 2 位置図(1:10,000)

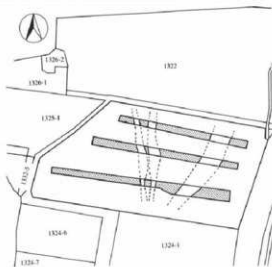
立地と経過

円正坊遺跡群 2 が含まれる円正坊遺跡群は、浅間山の火砕流により形成された台地が低湿地と接する台地縁辺に所在し、過去調査が行われた遺跡として清水田遺跡がある。遺跡周辺は北陸新幹線「佐久平駅」建設にともない大規模な区画整理事業が進みつつある。

今回、平和不動産によって宅地造成工事が計画され、遺跡群内であるため、事前の試掘調査を行うこととなった。

調査の結果

開発対象地に 3 本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、深さ1.4mの地点で、対象地全体にわたって南北方向に流れる旧流路 3 本をを確認した。この流路は全体を覆うように厚さ30cmの砂層が堆積しており、大規模な氾濫が予想された。この他の遺構、遺物は検出されなかった。



円正坊遺跡群 2 調査全体図(1:1,000)



トレンチ掘削状況(西より)

試掘調査

12 中金井遺跡群

所在地 佐久市大字小田井字上小金井1208-1

開発主体者 株式会社 システム・ワン

開発事業名 社屋新築

調査期間 平成8年7月3日

面積 1,842㎡

調査担当者 上原 学

立地と経過

中金井遺跡は佐久市の北端に位置し、標高が730～760mの台地上に位置する。調査地域の南東には昭和63年、平成元年に調査され、多くの中世遺構を検出した金井城跡が所在する。

今回、株式会社システム・ワンによる社屋新築工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを8本設定し、遺構の確認を行った。

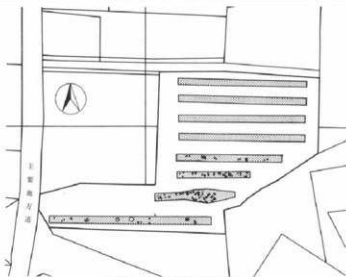
その結果、調査区南側4本のトレンチから、中世のビット群と思われる円形及び方形のビットが多数確認できた。しかし建物建設付近には遺構の存在が認められなかったため、ビット群周辺は埋土保存する運びとなった。遺物は認められなかった。



中金井遺跡群位置図 (1:10,000)



中金井遺跡群ビット群確認状況



中金井遺跡群全体図 (1:1,000)

試掘調査

番屋前遺跡群

13 番屋前遺跡Ⅱ

所在地 佐久市大字猿久保字番屋前

896-1,897-1・7,899-1・4

開発主体者 株式会社 ヤマダ電機

開発事業名 店舗建設

調査期間 平成8年7月4・5日

面積 2,738㎡

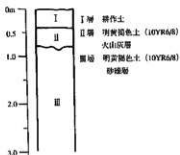
調査担当者 林 幸彦

立地と経過

番屋前遺跡群は、通称佐久市の中込っ原の北東端部に位置している。この台地は、浅間火山第一軽石流堆積物の水成層に覆われている。今回、株式会社ヤマダ電機が店舗を建設することになり試掘調査を実施した。

調査の結果、溝状遺構が4本、土坑が2基検出された。

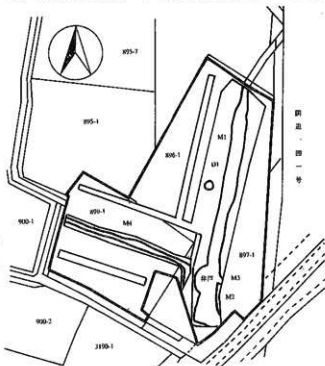
保護協議の結果、駐車場部分は盛り土保存とし、建物が建築される部分は記録保存調査を今年度に行うことになった。



番屋前遺跡群番屋前遺跡Ⅱ土層柱状図



番屋前遺跡群番屋前遺跡Ⅰ位置図 (1:10,000)



番屋前遺跡群番屋前遺跡Ⅱ調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

14 坪の内遺跡

所在地 佐久市大字内山字坪の内6748-3他

開発主体者 有限会社 勇進建設

開発事業名 宅地造成に伴う進入路建設

調査期間 平成8年7月18日～7月19日

面積 225㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

坪の内遺跡は佐久市内山に所在する。内山地帯は群馬・関東方面に向かう交通路として古くより開け、近年はこの峠道が「コスモス街道」として有名となった。遺跡はこの谷筋にのびる山地から舌状に突き出した丘陵の東斜面にある。遺跡の標高は717m内外を測る。周辺の遺跡としては長峯古墳群があり、古墳時代後期群集墳5基が調査されている。

今回、有限会社 勇進建設により遺跡内に宅地造成進入路が建設されることとなり、試掘調査を実施した。

調査の結果

開発対象地に計2本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、対象地西側から遺物は出土しなかったものの、焼土及び炭化物が堆積する層が確認でき、炭化物層下より竪穴状遺構とPitが検出された。調査の結果を受け保護協議がなされたが、設計変更は難しく記録保存を目的とする発掘調査を実施する事となった。



坪の内遺跡位置図(1:10,000)



坪の内遺跡調査全体図(1:1,000)



トレンチ掘削状況(東より)

試掘調査

15 岩村田遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田795-3
開発主体者 医療法人三世会 金沢病院
開発事業名 看護婦寮建設
調査期間 平成8年8月2日
面積 80.29㎡
調査担当者 須藤 隆司



岩村田遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

岩村田遺跡群は、佐久市大字岩村田地籍に所在し、本調査地点は岩村田の中心街に位置する。本遺跡群では弥生時代から中世までの遺構・遺物が確認されている。本調査地点の周辺では特に中世の遺跡が多く、王城跡や黒岩城跡が東方に位置している。また、金沢病院の1997年度の隣接調査地点では、竪穴状遺構が7棟検出されている。

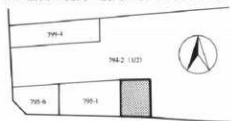
今回、金沢病院が本遺跡群内に看護婦寮建設を計画したため、試掘調査を実施した。

調査の結果

全面の表土を除去して遺構・遺物の確認を行ったが、ほぼ全面に現代の攪乱が及んでおり、遺構・遺物は検出できなかった。



岩村田遺跡群 調査状況



道



岩村田遺跡群調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

16 栗毛坂遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田北一丁目4-4

開発主体者 株式会社 真栄建設

開発事業名 住宅展示場・事務所建設

調査期間 平成8年8月8日

面積 811㎡

調査担当者 上原 学

立地と経過

栗毛坂遺跡群は佐久市岩村田に所在し、東西方向にのびる田切り地形の台地上に展開する。調査区付近の標高は745mを測る。また、調査区周辺は近年開発が進んでいる地域で、西側に近接して佐久インターチェンジが所在する。

今回、株式会社真栄建設による住宅展示場・事務所建設工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを2本設定し、表土から深さ1.5m付近の砂層上面において遺構確認を行った。その後さらに掘り下げ2.0m～2.6mのローム土上面において再度遺構の確認を行った結果、自然流路跡が2条認められたが、他の遺構・遺物は確認できなかった。

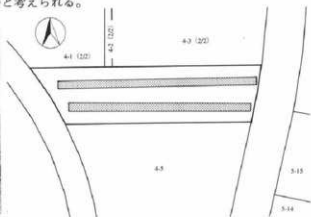
また、現在の地形は表土下1.0m～1.3mに現代の廃棄物が若干含まれることから、周辺地域の区画整理に伴い、埋め土・整地されたものと考えられる。



栗毛坂遺跡群位置図 (1:10,000)



栗毛坂遺跡群調査状況



栗毛坂遺跡群全体図 (1:1,000)

試掘調査

17 中道遺跡

所在地 佐久市大字前山字中道118-2他

開発主体者 株式会社 光和建设

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年8月9日

面積 1,592㎡

調査担当者 富沢 一明



中道遺跡位置図(1:10,000)

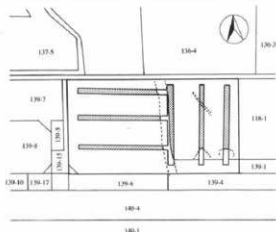
立地と経過

中道遺跡は野沢平の西方、千曲川と片貝川に挟まれた沖積低地に存在する。遺跡周辺の標高は670m内外を測る。遺跡内では昭和46年に一部分のが調査が行われ古代律令期の竪穴住居址が検出され、遺物としては奈良三彩「蓋」などが出土している。今回、株式会社 光和建设により遺跡内に宅地造成が計画され、試掘調査を行う事となった。

調査の結果

開発対象地に6本のトレンチを設定し調査をおこなった。その結果、調査地東側から弥生時代後期と古墳時代後期の住居址がそれぞれ1軒検出された。また中央部からは、園場整備以前の水田水路が確認された。対象地西側は西に傾く湿地地形を示し、遺構・遺物ともに確認されなかった。

調査の結果を受け保護協議が行われ、現状での盛り土を行い、尚かつ建物位置を設計変更していただくこととなり、トレンチの埋め戻しを行った。なお、今回の中道遺跡の弥生時代後期の住居址発見は、野沢平における沖積地内での初めての確認例となった。



中道遺跡調査全体図(1:1,000)



トレンチ掘削状況(北より)

試掘調査

18 西大久保遺跡群

所在地 佐久市大字下平尾字下大久保598-1外
開発主体者 佐久市土地開発公社
開発事業名 住宅団地造成
調査期間 平成8年8月27日～29日
面積 4,878㎡
調査担当者 須藤 隆司



西大久保遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

西大久保遺跡群は、佐久市大字下平尾地籍に所在し、火砕流台地上に立地している。今までの調査では、縄文時代から平安時代までの遺物・遺構が確認されている。



今回、佐久市土地開発公社が本遺跡群内に住宅団地造成事業を計画したため、試掘調査を実施した。

調査の結果

右図の12本のトレンチを設定して、調査を行った。耕作土から浅間第一軽石流に至る85cm程の間に暗褐色土・黒褐色土・黒色土の堆積があり、調査区中央部南半は浅い谷状地形を成していた。

本調査地点では、遺構・遺物は確認されなかった。



西大久保遺跡群 調査全体図(1:1,500)

試掘調査

19 一丁田遺跡

所在地 佐久市大字大沢字大畑2252他
開発主体者 株式会社 安井建設
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成8年8月29日～9月10日
面積 29,611㎡
調査担当者 富沢 一明



一丁田遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

一丁田遺跡は佐久市の西方、蓼科山麓よりのびる山地の一支配に位置し、遺跡はその山地の南斜面に存在する。遺跡付近の標高は725～775mを測る。周辺の遺跡としては、等遺跡の西方3kmの山麓中に31200±900年前の年代が与えられている石器群が出上した立科F遺跡がある。また、等遺跡周辺は近年「中部横断道」の通過地点に設定されたことから、今後大きく姿を変えるであろう地域である。

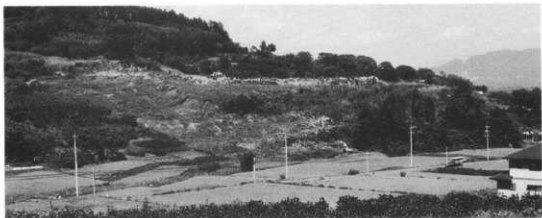
今回、株式会社 安井建設により遺跡内及び周辺に宅地造成が計画された為、試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

調査は開発面積29,611㎡をもとに遺跡範囲(詳細分布調査地図に記載)と隣接地を含めた14,000㎡に対しおこなった。試掘方法は地輪に沿って幅1.8mのトレンチ42本を設定し、遺構が検出された部分については、規模確認の為、適時トレンチを拡張した。

その結果は、南斜面を中心に縄文時代前期から中期後半の住居址14軒、平安時代住居址11軒、溝状遺構8本、土坑20基、古墳跡1基が検出された。この古墳の主体部は南開口の横穴式石室と考えられ、天井部は既に無くなっているが両側壁は残存している状態であった。また、山側のみ周溝が巡っている。傾斜地中央部と南側は埋没谷が検出され、特に中央部の埋没谷からは縄文時代中期の遺物が多量に検出され包含層を形成していた。山地斜面地部と水田が接する部分においては泥炭層が形成されており、層中より「杭」と考えられる木製品が1点出土した。また、対象地には部分的にソフトローム層が残存し旧石器が検出される可能性も指摘できた。よって、当遺跡は南斜面を中心に縄文時代中期の集落が大規模に展開していることが予想された。

以上、調査の結果をもとに協議が行われたが、遺跡の保護については、現在、開発主体者側と協議中である。



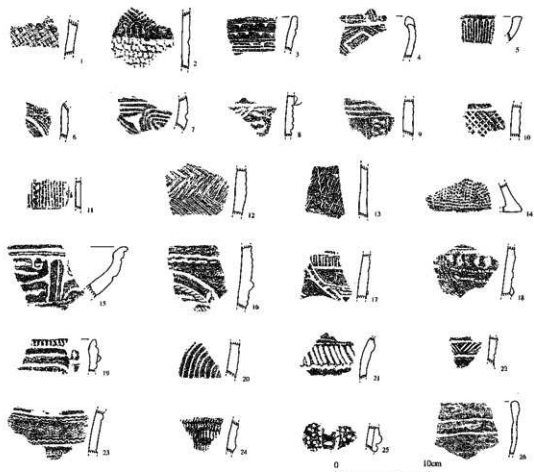
調査区風景（南より）



トレンチ掘削状況（西より）



トレンチ掘削状況（西より）



—丁田遺跡出土遺物拓影圖

試掘調査

20 寺畑遺跡群

所在地 佐久市大字猿久保字下原603-1,604-1

開発主体者 (株)小沢商店

開発事業名 石油タンク・事務所建設

調査期間 平成8年9月6日

面積 919㎡

調査担当者 羽毛田卓也



寺畑遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

寺畑遺跡群は湯川南側の河岸段丘最上面に展開する弥生から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の調査地は遺跡群の中央北端に位置する。平成6年度の道路整備事業に伴う調査では縄文時代創早期の土器・石器群が検出されている。今回調査地はその東側に近接する。今回、株式会社小沢商店が石油タンク・事務所建設工事を計画したため試掘調査を実施した。



寺畑遺跡群トレンチ設定図 (1:1,000)

調査の結果

調査地の南北方向に4本のトレンチを掘削した。表土を19cm～36cm剥くと褐色砂層が現れ、精査を行ったが遺構・遺物ともに検出されなかった。さらに砂層を18cm～28cm剥くと北側約半分からは褐色土層、南側からは明黄褐色砂



トレンチ掘削状況

質ローム層が現れ、精査を行った結果遺構・遺物ともに検出されなかった。さらに北側半分を覆っている褐色土層を0～14cm剥ぐと明黄褐色土層が現れ、精査を行った結果、北端で道路と推測される溝址が検出された。



トレンチ掘削状況

試掘調査

周防畑遺跡群

22 周防畑遺跡 I

所在地 佐久市大字長土呂1,110
開発主体者 千曲錦酒造株式会社
開発事業名 観光酒蔵新築工事
調査期間 平成8年9月11日～17日
面積 6,800㎡
調査担当者 小林 真寿



周防畑遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

周防畑遺跡群は佐久市大字長土呂に所在し、標高は600m後半～700m前半を測る。調査地は、遺跡群南半中央部に位置し、東西を北東～南西に走る田切り谷に区画されている。周辺部からは布目瓦が出土しており、古代佐久地方の政治あるいは文化の中核的な施設が存在した可能性が指摘されてきた地域である。同遺跡群内では、昭和54年に今回の開発予定地の北東50mの地点で周防畑A遺跡の調査により奈良～平安時代の集落址が、また昭和55年には周防畑B遺跡の調査が行われ弥生～平安の集落址が、更に昭和58年には岩宮遺跡の調査が実施され、古代～平安の集落址が検出されている。

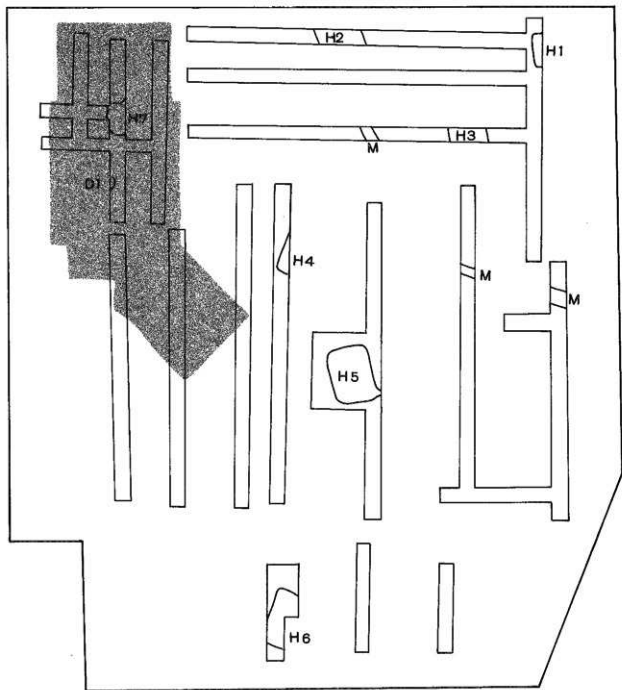
今回、千曲錦酒造株式会社による観光酒蔵新築工事が計画されたため事前に試掘調査を実施した。

調査の結果

平安時代の集落の一部が検出された。住居址7軒、溝状遺構、土坑、掘立柱建物址を構成するであろう多数のPitが具体的な内容である。周防畑A遺跡に連なるものと思われる。

遺構は、現地表面F0.7m～2mにおいて浅間山第1軽石流の堆積したP1ローム上面において検出されており、残存状況は極めて良好である。

建物の建設予定地の下部にも遺構は存在しており、発掘調査が必要と思われる。



周防畑道路。全体図 (1:500、天が北)

試掘調査

23 枇杷坂遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田字下穴虫239-1

開発主体者 (有)田園不動産

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年9月25日

面積 2,176㎡

調査担当者 羽毛田卓也



枇杷坂遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

枇杷坂遺跡群は佐久市北方の田切り地帯の帯状台地に展開する弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の調査地点は遺跡群の中央北端に位置する。今回有限会社田園不動産が宅地造成を計画したため試掘調査を実施した。

調査の結果

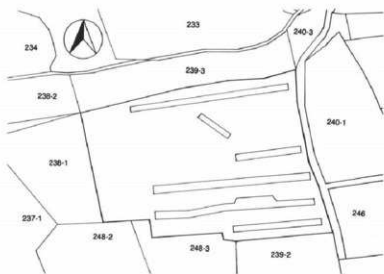
調査地の東西方向に5本のトレンチを掘削した。表土を20cm～43cm剥いだところで明黄褐色砂層・灰褐色砂層・黒褐色砂層が現れ、確認精査を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。調査地の北側にはクルミの大き木が植えられており、状況を見た上で伐採をし調査を実施する予定だったが、掘削したトレンチの状況より判断し調査を終了した。



トレンチ掘削状況



トレンチ掘削状況



枇杷遺跡群トレンチ設定図 (1:1,000)

試掘調査

24 矢沢遺跡 1

所在地 佐久市大字上平尾字矢沢 1751 外
開発主体者 佐久市（農林課）
開発事業名 上平尾果樹団地造成事業
調査期間 平成 8 年 10 月 7～9 日
面積 6,000 m²
調査担当者 三石 宗一



矢沢遺跡 1 位置図 (1:10,000)

立地と経過

矢沢遺跡は、平尾富士南西麓の緩斜面上に位置し、標高780 m内外を測る。当遺跡の西方には矢口古墳群、東方には矢沢古墳群が存在し、さらに南方には、十二の前遺跡・橋ヶ窪遺跡・城古墳群等が展開している。十二の前遺跡・橋ヶ窪遺跡では、平成5年度に市道整備事業の際に試掘調査が行われ、橋ヶ窪遺跡から平安時代の埴と羽釜が出土している。また、橋ヶ窪遺跡の南端には一本松古墳群があり、平尾山都市公園事業に伴い、平成5年度に発掘調査が行われた。

今回、佐久市農林課により、上平尾果樹団地造成事業として道路の拡幅および新設が計画されたため試掘調査を実施した。

調査の結果

調査は、道路用地内にA～Tの20本のトレンチを掘り下げ、遺構の確認を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



調査区遠景 (南方から)



試掘調査

25 中道遺跡

所在地	佐久市大字前山字中道113-1他
開発主体者	佐久市
開発事業名	公営住宅建設事業
調査期間	平成8年11月13日～11月14日
面積	10,248㎡
調査担当者	冨沢 一明



中道遺跡位置図(1:10,000)

立地と経過

中道遺跡は野沢平の西方、千曲川と片貝川に挟まれた沖積低地に存在する。遺跡周辺の標高は670m内外を測る。遺跡内では昭和46年に一部分の調査が行われ古代律令期の竪穴住居址が検出され、遺物としては奈良三彩「蓋」などが出土している。今回、佐久市において公営住宅建設事業、泉団地立替え工事が計画され、試掘調査を行う事となった。

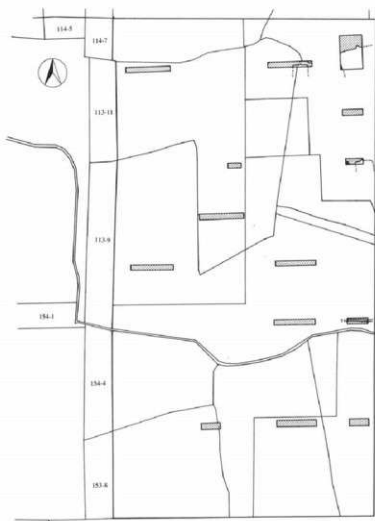
調査の結果

開発対象地は現在、建物が立っている為、空き地部分に合計14カ所の拵掘りを行った。その結果、調査地北東側から竪穴住居址3軒(古墳時代後期・平安時代)と土坑、溝状遺構が確認された。また、調査地西側は緩やかに西側の片貝川に向けて落ち込む地形を示し旧流路的な様子を示した。この部分からは弥生土器・土師器などが出土し、或いは水田址等が検出される可能性が指摘できる。試掘調査の結果から、今回の試掘面積が開発対象地にたいして極めて限定された範囲である為、遺構の広がり等の把握が不十分であり、既存建物が撤去された後、改めて保護協議を行うこととなった。



トレンチ掘削状況(西より)

住居址検出状況(南より)



中道道路調査全体図 (1:1,000)



調査風景 (東より)

試掘調査

26 鋳師屋遺跡群

所在地 佐久市大字小田井字下田279-1外
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 県単高速道関連道路改良
調査期間 平成8年11月14日
面積 1,980㎡
調査担当者 須藤 隆司



鋳師屋遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

鋳師屋遺跡群は、佐久市大字小田井地籍に所在する。本遺跡群では県営圃場整備事業で前田遺跡等が調査され古墳時代から平安時代にかけての大規模な集落が確認されている。

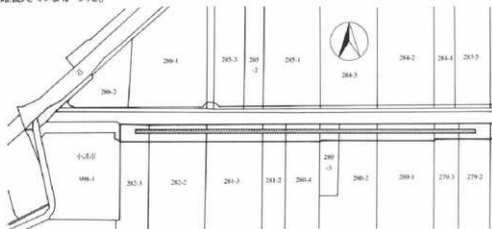
今回、佐久建設事務所が高速道関連道路改良事業を本遺跡群の隣接地に計画したため試掘調査を実施した。



鋳師屋遺跡群 調査トレンチ

調査の結果

西端に浅間第一軽石流の堆積がみられたが、調査区の大半は砂層堆積に示された低地であり、遺構・遺物は確認されなかった。



鋳師屋遺跡群調査全体図 (1:2,000)

試掘調査

27 岩村田遺跡群

所在地	佐久市大字岩村田字六供後3588-1外
開発主体者	株式会社 大阪屋
開発事業名	店舗・駐車場増築工事
調査期間	平成8年11月21日
面積	1,174㎡
調査担当者	須藤 隆司

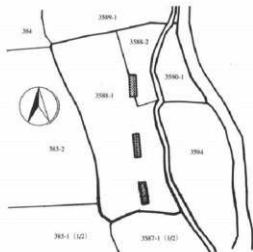


岩村田遺跡群 位置図(1:1,000)

立地と経過

岩村田遺跡群は、佐久市大字岩村田地籍に所在する。調査地点の周辺では、六供後遺跡が昭和55年に調査され、弥生時代・中世の遺構・遺物が検出されている。

今回、株式会社大阪屋が店舗・駐車場増築工事を本遺跡群内に計画したため、試掘調査を実施した。



岩村田遺跡群 調査全体図(1:1,000)

調査の結果

3カ所のトレンチで試掘調査を行った。本調査地点は、本年度に日本道路公団の腐土処理・農地造成事業に伴って試掘調査した地点の北側に接する。現状は台地上を呈するが、それは3mに及ぶ盛り土の結果であり、旧地形は日本道路公団調査地点と同様に浅い谷状地形であった。

遺構・遺物は確認されなかった。



岩村田遺跡群 調査トレンチ

試掘調査

28 長土呂遺跡群

上村遺跡・上前田遺跡

所在地	佐久市大字長土呂村上村1479-2他
開発主体者	佐久市
開発事業名	区画整理道路建設
調査期間	平成8年11月21日
面積	816㎡
調査担当者	富沢一明
立地と経過	



長土呂遺跡群位置図(1:10,000)

長土呂遺跡群は佐久市の北西方向にあり、浅間山の火砕流により形成された台地が低湿地と接する部分に位置する。周辺の遺跡としては同じく台地の先端に位置する周防畑遺跡や清水田遺跡がある。現在遺跡周辺では、北陸新幹線「佐久平駅」建設に伴う大規模な工事が進められており旧来の水田風景を一変している。今回、佐久市において新幹線駅周辺区画整理事業が進められ昨年に引き続き、計画道路部分の試掘調査を行うこととなった。今回の対象地は平成7年に発掘調査が行われた上村遺跡の南隣に位置する。

調査の結果

開発対象地である道路敷きに幅1.6mのトレンチを平行に設定して調査を行った。その結果、北側より平成7年度調査地点に続くと考えられる弥生時代の溝状遺構が確認された。また、東側では砂層に埋没した氾濫原的な部分より溝状の流路が2本確認された。

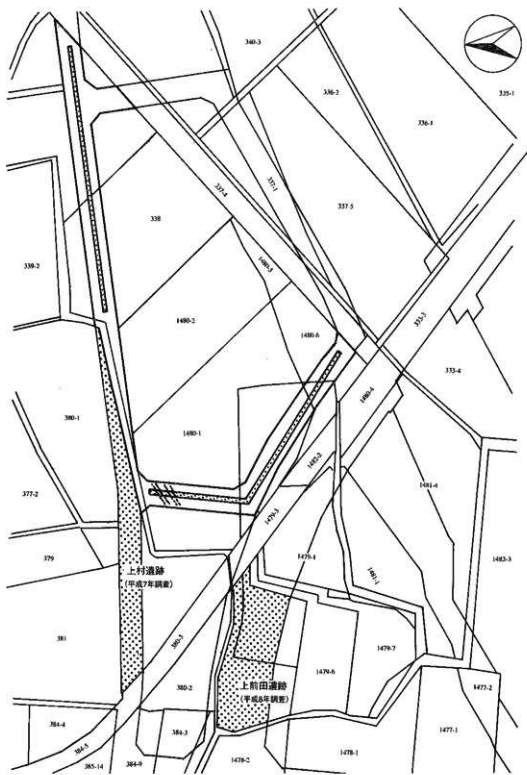
試掘調査の結果から、保護協議を行ったが設計変更は難しく発掘調査を行う事となった。



トレンチ掘前状況(南より)



トレンチ掘削状況(東より)



長土呂遺跡群調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

29 中西の久保遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田字東西久保
2351-1他

開発主体者 学校法人 佐久学園

開発事業名 グラウンド造成

調査期間 平成8年11月26日～28日

面積 29,907㎡

調査担当者 小林 眞寿

経過と立地

中西久保遺跡は、湯川の第一河岸段丘上に位置し、一段上の第2河岸段丘上には、北に北西の久保、北東には一本柳遺跡群、北西には鳴澤遺跡群、東には中鳴澤遺跡群が隣接する遺跡の密集地に存在している。平成7年度に実施された隣接地の調査では古墳時代の集落が確認されている。今回遺跡のはほぼ全域におよぶグラウンド造成が、学校法人佐久学園により計画されたため事前に試掘調査を実施した。しかし、今回の調査はあくまでも試掘調査の更に予備調査的な調査にとどまるものである。

調査結果

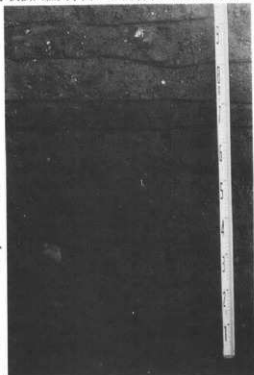
トレンチによる調査の結果、現地表面から0.5～1.8m下には過去においてこの地が湿地帯であったことを示す泥炭層が、50～80cmの堆積層を形成していることが明らかとなった。泥炭層の下層には湯川の氾濫による河床面が存在している。

泥炭層中に切り込む住居跡が1軒確認されたこと、土器が含まれていること等から泥炭層の調査は必要である。

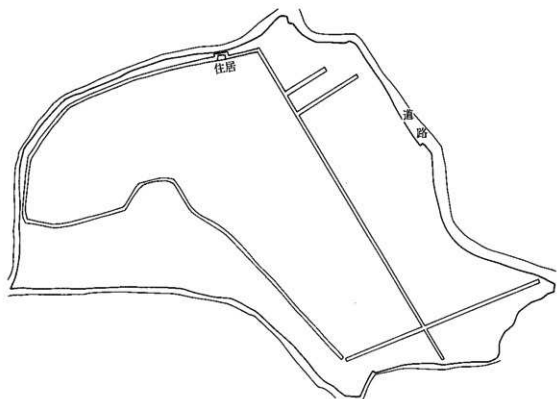
泥炭層の上層には砂の堆積層が形成されている。トレンチの断面観察からこの砂層中にも1～3面の水田面が存在することが確認できた。平面調査が必要である。



中西の久保遺跡群位置図 (1:10,000)



中西の久保遺跡群全景



中西の久保遺跡群トレンチ設定図 (1:2,000、天が北)

試掘調査

30 一本柳遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田字東大門先2058外
開発主体者 株式会社 平和不動産
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成8年11月28・29日
面積 2,473㎡
調査担当者 須藤 隆司



一本柳遺跡群 位置図(1:1,000)

立地と経過

一本柳遺跡群は、佐久市大字岩村田地籍に所在し、火砕流台地上に立地する。本遺跡群では弥生時代から中世の遺構・遺物が確認されており、本調査地点の南方には昭和46年に調査され、金銅製の杏葉が出土した東一本柳古墳が存在する。



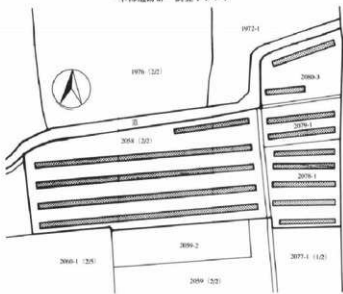
一本柳遺跡群 調査トレンチ

今回、株式会社平和不動産が本遺跡群内に宅地造成事業を計画したため試掘調査を実施した。

調査の結果

右図のトレンチ14本を設定して試掘調査を行った。

耕作土と浅間第一軽石流の間に20cm程の黒褐色土堆積がみられたが、南側の台地から北側の低地に至る緩斜面地形を呈しており、本調査地点では遺構・遺物は確認されなかった。



一本柳遺跡群 調査全体図(1:1,000)

試掘調査

31 跡坂遺跡群

所在地 佐久市大字小田井字敷月850-5外4

開発主体者 大蔵不動産株式会社

開発事業名 建売住宅建設

調査期間 平成8年12月3日

面積 1,674㎡

調査担当者 上原 学

立地と経過

跡坂遺跡群は、佐久市北端の南北方向にのびる田切り地形の台地上に展開する。調査区は遺跡群の最北端に当たり、北側は道路を挟み御代田町との境界線に接する。標高は755mを測る。

今回、大蔵不動産株式会社による建売住宅建設工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチを3本設定し、表土から深さ30cm程度のローム土上面において遺構の確認を行った。その結果遺構・遺物ともに認められなかった。



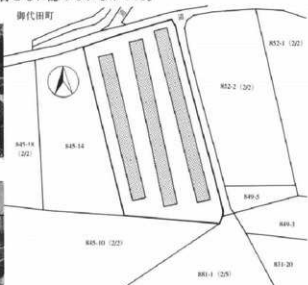
跡坂遺跡群位置図 (1:10,000)



跡坂遺跡群近景 (南から)



跡坂遺跡群近景 (東から)



跡坂遺跡群全体図 (1:1,000)

試掘調査

鳴沢遺跡群

32 五里田遺跡

所在地 佐久市大字根々井字五里田 945-1外

開発主体者 長野県土地開発公社

開発事業名 長野県警察本部

佐久地区職員待機宿舎建設

調査期間 平成8年12月6日

面積 3,300㎡

調査担当者 三石 宗一



鳴沢遺跡群五里田遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

鳴沢遺跡群は、湯川の右岸に位置し、標高681～685mを測る。当遺跡群の東方には上鳴沢古墳群、西方には姫宮塚古墳が存在する。また平成3年度には、今回の調査地の北側に隣接する鳴沢遺跡群上鳴沢遺跡1の試掘調査が行われ、竪穴住居址1棟、弥生時代と考えられる円形溝墓1基が検出され、平成6年度に試掘調査が行われた鳴沢遺跡群2では、弥生時代中期から後期を中心とする竪穴住居址18棟、土坑10基等多数の遺構が検出されている。また東方には、谷を隔てて北西ノ久保遺跡・中西の久保遺跡群が存在する。

今回、長野県土地開発公社により、長野県警察本部佐久地区職員待機宿舎の建設が計画されたため、遺構の状況を確認するため試掘調査を実施した。



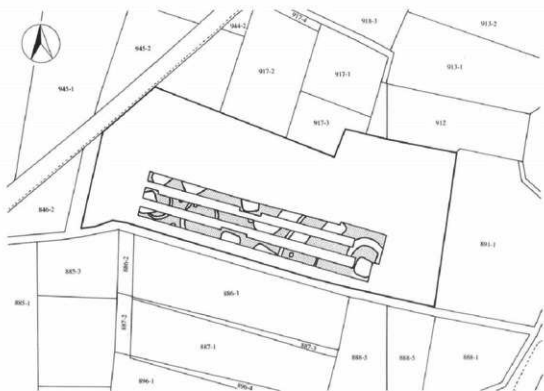
周川遺跡位置図 (1:5,000)

調査の結果

今回行った試掘調査は、開発予定地3,300㎡のうち、建物用地部分について、東西3本のトレンチを掘り下げ、遺構の確認を行った。調査の結果、弥生時代と考えられる竪穴住居址11棟の他、径8～10mを測る円形周溝墓と考えられる溝、土坑等が検出され、本調査区付近には弥生時代を中心とする遺構が多数存在することが予想された。試掘調査終了後、保護協議を行い、調査区南側の建物用地部分約1,400㎡について平成9年度に発掘調査を行い、北側の駐車場用地部分については、遺構の分布状況を確認するため試掘調査を実施した後、埋土保存することとなった。



鳴沢遺跡群五里田遺跡調査地点近景（東方から）



鳴沢遺跡群五里田遺跡調査全体図（1：1,000）

試掘調査

33 岩村田遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田字六供後3587-1外

開発主体者 日本道路公団

開発事業名 農地造成

調査期間 平成8年12月9日～12日

面積 11,630㎡

調査担当者 須藤 隆司



岩村田遺跡群 位置図 (1:10,000)

立地と経過

岩村田遺跡群は、佐久市大字岩村田地籍に所在する。今回、日本道路公団の上信越自動車道4車線化工事における廃土を用いた農地造成が本遺跡群内に計画されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

事業計画地は、小田切り地形内である。本地点が遺跡群内に含まれていた理由は、堀や古代水田の存在を推定したものであるが、右図のトレンチによる調査では、本調査地点は浅い谷状地形であり、古代水田及び他の遺構は確認されなかった。



岩村田遺跡群 調査全体図(1:4,000)



岩村田遺跡群 調査トレンチ

試掘調査

34 北谷津遺跡 1

所在地 佐久市大字平賀4901,4914
 開発主体者 株式会社 アートクロス
 開発事業名 宅地造成
 調査期間 平成8年12月10日
 面積 1,419㎡
 調査担当者 林 幸彦



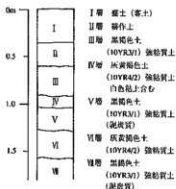
北谷津遺跡 I 位置図 (1:10,000)

立地と経過

北谷津遺跡は、平賀の南東部にあり、県史跡平賀城跡大手門跡の西側に位置する。付近は北側と南側の丘陵に挟まれた低地であって遺跡の中央を東から西流する小河川がみられる。東の台地上には、萩元古墳や西大久保古墳群が存在する。

今回、株式会社アートクロスが宅地造成をすることになり試掘調査を実施した。

東西に3本のトレンチを入れ精査したが、遺構遺物は検出されなかった。



北谷津遺跡 1 土層柱状図



北谷津遺跡 1 調査全体図 (1:1,500)

試掘調査

35 滝遺跡

所在地 佐久市大字平賀字滝4276-1

開発主体者 有限会社 中央不動産

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成8年12月11日

面積 1,722㎡

調査担当者 富沢一明

立地と経過

滝遺跡は佐久市平賀に所在し、遺跡の北側には滑津川により形成された小規模な沖積地が広がる。遺跡地形は北西に傾く傾斜地であり、南側にある標高849mの山地に続く。この山上には平賀城跡が存在する。今回、有限会社 中央不動産により宅地造成の計画がなされ、遺跡内である為、試掘調査を行うこととなった。

調査の結果

開発対象地に計10本のトレンチを設定し調査をおこなった。その結果、対象地中央部より中世と考えられる方形のPit2カ所と焼土・炭化物を混入した堅穴状遺構1基が確認された。この堅穴状遺構はその覆土の状況より2棟の遺構が重複しているものと考えられた。また遺跡の北西側は低地へと続く傾斜が確認され、黒色土の堆積が確認されたが遺物は確認されなかった。

試掘調査の結果を受け保護協議が行われ、遺構は検出部分を設計変更により盛土保存する事となった。



滝遺跡位置図 (1:10,000)



滝遺跡調査地点風景 (南より)



下水道調査全体図 (1:1,000)



トレンチ掘削状況 (東より)

試掘調査

36 枇杷坂遺跡群

所在地	佐久市大字岩村田字下穴虫240-1
開発主体者	有限会社 サンコー地所
開発事業名	宅地分譲
調査期間	平成8年12月13日
面積	822㎡
調査担当者	上原 学



枇杷坂遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

枇杷坂遺跡群は、岩村田市街地の北西をおよそ南北方向にのびる田切り地形の台地上に展開する。調査区は遺跡群のほぼ中央の西端に位置し、標高は728mを測る。西側は標高差10mの田切りとなる。

今回、有限会社サンコー地所による宅地分譲が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチを3本設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。



枇杷遺跡群近景 (南から)



枇杷遺跡群近景 (東から)



枇杷坂遺跡群全体図 (1:1,000)

試掘調査

37 棧敷遺跡

所在地 佐久市大字安原棧敷1525-1
開発主体者 富士ケミカル株式会社
開発事業名 事務所・倉庫建設
調査期間 平成8年12月18日
面積 1,709㎡
調査担当者 上原 学



棧敷遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

棧敷遺跡は岩村田市街地の西側に位置し、南北方向に流れる湯川の左岸段丘面上に展開する。調査区は遺跡の北寄りに位置し、標高は720mを測る。

今回、富士ケミカル株式会社による事務所・倉庫建設工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを7本設定し、表土から深さ30cm～40cmのローム層上面において遺構の確認を行なった。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。



棧敷遺跡近景 (西から)



棧敷遺跡近景 (南西から)



棧敷遺跡全体図 (1:1,000)

試掘調査

38 地ヶ入遺跡

所在地 佐久市大字志賀字地ヶ入
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 緊急地方道路整備事業
調査期間 平成8年12月18日
面積 5,400㎡
調査担当者 須藤 隆司



地ヶ入遺跡 位置図 (1:1,000)

立地と経過

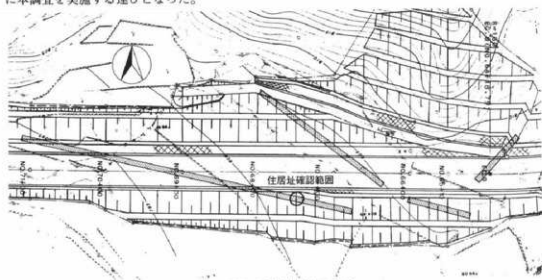
地ヶ入遺跡は、佐久市大字志賀地籍に所在し、分布調査で平安時代の遺物が採取されている。今回、佐久建設事務所が遺跡内に緊急地方道路整備事業を計画したため、試掘調査を実施した。

調査の結果

調査区の山沿い及び急斜面では耕作土以下が岩盤であり、遺構・遺物は確認されなかったが、緩斜面の範囲で平安時代の土師器数十片が検出され、住居址の存在が確認された。そこで、平成9年度に本調査を実施する運びとなった。



地ヶ入遺跡 調査トレンチ



地ヶ入遺跡 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

39 中原遺跡群

所在地 佐久市大字中込字梨ノ木3803-3
三河田字大塚407-5

開発主体者 株式会社石井商会

開発事業名 倉庫・事務所建設

調査期間 平成9年1月14日

面積 2,975㎡

調査担当者 小林 眞寿



中原遺跡群位置図 (1:10,000)

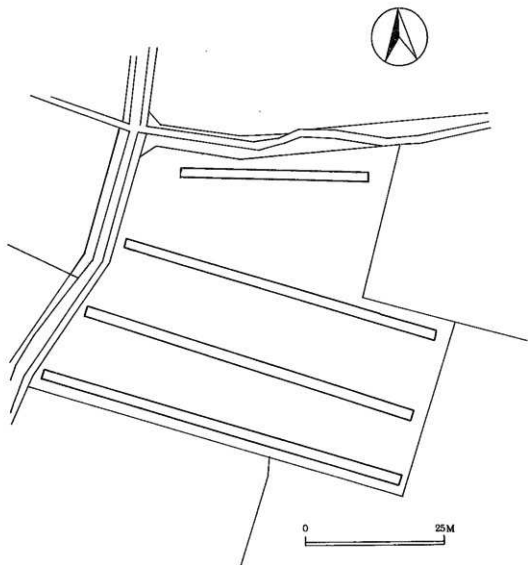
経過と立地

中原遺跡群は、津上製作所信州工場から三河田の集落にかけて展開する。遺跡群の南部は滑津川との比高25mを測る断崖となっている。標高は679～687mを測る。昭和62・63年、平成8年に行われた梨の木遺跡の調査では、中世の遺構・遺物が検出されている。今回、株式会社石井商会による倉庫・事務所の建設が計画されたため事前に試掘調査を実施した。

調査結果

開発予定地の地形に直交して東西方向に4本のトレンチを地表下0.5mに存在する浅間山第1軽石流の堆積層の上面を検出面として掘削したが、遺構・遺物ともに確認されなかった。





中原道雄群トレンチ設定図

試掘調査

40 岩村田遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田字中宿808-1

開発主体者 医療法人 三世会 金沢病院

開発事業名 病院建設

調査期間 平成8年1月14日

面積 450㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

岩村田遺跡群は佐久市岩村田に所在し、遺跡のほとんどは現在岩村田の市街地となっている。この岩村田の街は中世より大井氏の城下町として栄えていたが文明十六年(1484)村上氏によって焼き討ちにあい灰燼に帰したことが文献『四國譚載』に記されており、稀少な資料である中世町屋が兵火に遭遇しているとは言え良好な状態で発見される可能性がある地域である。

今回、医療法人三世会 金沢病院によって病院建設が計画され、遺跡内の為試掘調査を行うこととなった。

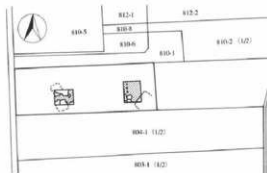
調査の結果

開発対象地に5×5mの区画を2カ所設定し調査をおこなった。その結果、対象地東側より古墳時代中～後期と考えられる竪穴住居址1軒と中世と考えられる大型の土坑が検出された。また西側からは平安時代の竪穴住居址2軒と土坑・Pitが確認された。出土遺物は古墳時代の土師器甕・中世内耳土銅片などがあつた。

試掘調査の結果を受け保護協議が行われたが、設計変更は難しく記録保存を目的とする発掘調査が実施されることとなった。



岩村田遺跡群位置図 (1:10,000)



岩村田遺跡群調査全体図 (1:1,000)



トレンチ掘削状況(東より)

試掘調査

41 上小平遺跡

所在地 佐久市大字岩村田字上小平4234-1・9
開発主体者 与志本林業株式会社
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成9年1月16日
面積 2,138㎡
調査担当者 上原 学



上小平遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

上小平遺跡は岩村田市街地の西方に位置し、南北方向に流れる湯川の左岸段丘面上に位置する。調査区は、遺跡の北寄りに位置し、標高は717mを測る。

今回、与志本林業株式会社による宅地造成工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

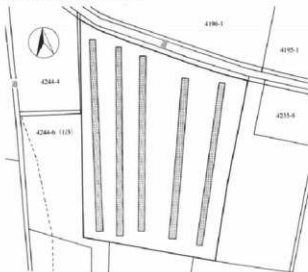
調査区に南北方向のトレンチを5本設定し、表土から深さ50cmの砂層上面において遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。またトレンチ内2カ所をさらに掘り下げた結果、砂層が4m以上堆積し、ローム土は確認できなかった。



上小平遺跡遠景 (車から)



上小平遺跡遠景 (南から)



上小平遺跡全体図 (1:1,000)

試掘調査

周防畑遺跡群

42 南近津遺跡

所在地 佐久市大字長土呂字南近津 1163-6外
開発主体者 株式会社アメック
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成9年1月16・17日
面積 2,020㎡
調査担当者 三石 宗一



周防畑遺跡群南近津遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

周防畑遺跡群は、佐久市の北部、田切り地形に挟まれた台地上に位置する。田切りを挟んだ西方には近津遺跡群、東方には芝宮遺跡群・長土呂遺跡群が存在する。当遺跡群内では周防畑A遺跡、周防畑B遺跡の発掘調査が行われており、周防畑A遺跡からは奈良時代の竪穴住居址1棟、平安時代の竪穴住居址4棟、周防畑B遺跡からは弥生時代後期の竪穴住居址23棟・円形周溝墓2基、平安時代の竪穴住居址18棟、掘立柱建物址等が調査されている。また、昭和58年度・平成3年度には、今回の調査地の南側に近接する若宮遺跡Ⅰ・Ⅱで古墳時代後期から平安時代の竪穴住居址17棟等が調査されている。

今回、株式会社アメックにより、宅地造成が計画されたため、遺構の状況を確認するため試掘調査を実施した。

調査の結果

調査は、開発予定地内に東西4本のトレンチを掘り下げ、遺構の確認を行った。調査の結果、古墳時代後期から平安時代と考えられる竪穴住居址14棟の他、土坑、ピット等が検出された。表土から遺構確認面までの深さは、調査区東側で約80cm、トレンチ西端部で約60cmを測る。

試掘調査終了後保護協議を行い、開発予定地の周縁部および道路部分について、平成9年度に発掘調査を実施することとなった。



調査区全景 (東方から)



遺構検出状況（東方から）



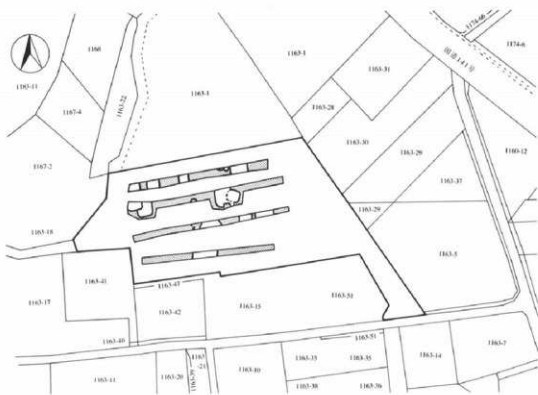
遺構検出状況（西方から）



遺構検出状況（西方から）



遺構検出状況（南方から）



周防細道郡南近津道路調査全体図（1：1,000）

試掘調査

43 藤塚遺跡

所在地 佐久市大字常田地籍1ツ岩8351-1外
開発主体者 コトヒラ工業株式会社
開発事業名 工場建設
調査期間 平成9年1月20～27日
面積 9,509㎡
調査担当者 須藤 隆司



藤塚遺跡 位置図 (1:1,000)

立地と経過

藤塚遺跡は佐久市大字常田地籍に所在する。本遺跡では古墳群及びその集落が確認・調査されている。今回、コトヒラ工業株式会社が遺跡内に工場建設を計画したため、試掘調査を実施した。



藤塚遺跡 調査トレンチ

調査の結果

本調査地点の東側には藤塚6号墳があり、本調査地点においても古墳の存在が予想されたが、古墳及びその痕跡は存在していなかった。また、集落の広がりも予想されたが、本調査地点の東辺が傾斜変換点となり、調査地点は西方に傾斜する斜面地を構成しており、遺構・遺物は確認されなかった。



藤塚遺跡 調査全体図 (1:1,500)

試掘調査

44 曾根城遺跡

所在地 佐久市大字小田井字曾根城197-3

開発主体者 株式会社 平和不動産

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成9年1月21日

面積 1,394㎡

調査担当者 上原 学

立地と経過

曾根城遺跡は佐久市の北に位置し、田切り地形の台地上に展開する。付近には周防畑遺跡・芝宮遺跡が所在し、多くの遺構が調査されている。調査区は遺跡のほぼ中央に位置し、標高は756mを測る。

今回、株式会社平和不動産による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に4本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。その結果、住居址7軒、土坑、溝を検出した。遺構確認は、表土から1mの砂層及びローム土上面で行ったが、トレンチ断面には上層の黒色土から掘り込まれた遺構も認められた。遺物は土師器・須恵器片が数点出土した。



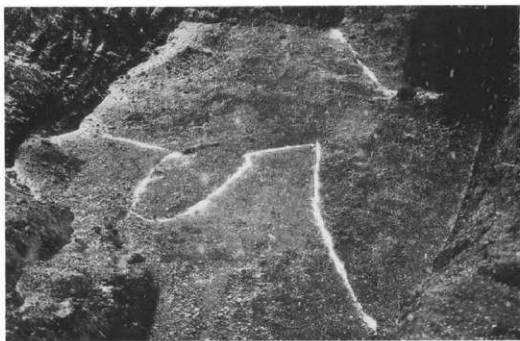
曾根城遺跡位置図 (1:10,000)



曾根城遺跡遠景 (南から)



曾根城遺跡全体図 (1:1,000)



曾根城遺跡遺構精確認状況

試掘調査

45 大塚遺跡群 1

所在地 佐久市大字中込字立石 2983-1、2984-1
開発主体者 モービル石油株式会社
開発事業名 ガソリンスタンド建設
調査期間 平成9年1月23日
面積 1,450㎡
調査担当者 三石 宗一



大塚遺跡群1位置図 (1:10,000)

立地と経過

大塚遺跡群は、佐久市の中央部、佐久市大字中込に所在し、標高683m前後を測る。遺跡群の南端には中込大塚古墳が存在する。東方には田切りが形成され、この田切りを挟んだ東方には深堀遺跡群が展開している。遺跡群の東側を国道141号バイパスが南北に通過しており、今回の調査対象地は遺跡群の東端部、国道141号バイパス沿いに位置する。

今回、モービル石油株式会社により、ガソリンスタンドの建設が計画されたため、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査の結果

調査は、開発予定地内に南北4本のトレンチを掘り下げ、遺構の確認を行った。調査の結果、遺構・遺物ともに確認されなかった。表土から遺構確認面である褐色の砂質土層までの深さは40～50cmを測り、さらにその下層には砂層の堆積が確認された。



大塚遺跡群1調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

46 東大久保遺跡群

所在地 佐久市大字上平尾字塚畑786-1

開発主体者 三映電子工業株式会社

開発事業名 工場新築工事

調査期間 平成8年1月28日

面積 1,437㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

東大久保遺跡群は佐久市の東方、湯川により形成された段丘縁に南北に細長く分布する遺跡群である。遺跡群内には大井氏との関係で語られる白岩城跡などがある。また遺跡群の東方にそびえる平尾山には大規模な中世山城として知られる平尾城があり、近年の調査成果によると周辺部の山並みには砦状の改変部分がいっつか発見されている。

今回、三映電子工業株式会社によって工場建設が計画され、遺跡内の為試掘調査を行うこととなった。

調査の結果

開発対象地に計6本のトレンチを設定し調査をおこなった。その結果、対象地中央部から東側は既存の建物基礎により削平されていた。対象地西側からは円形の土坑とPiiが確認された。出土遺物は土師器甕の小片が1点採集された。

試掘調査の結果を受け保護協議が行われ、建物位置の設計変更をして頂くことになり、遺構部分は現状保存されることとなった。



東大久保遺跡群調査全体図 (1:1,000)



東大久保遺跡群位置図 (1:10,000)



トレンチ掘削状況(西より)

試掘調査

47 国蔵山古墳1 (隣接)

所在地 佐久市大字岩村田下塚本 1346

開発主体者 株式会社 平和不動産

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成9年3月24・25日

面積 2,702㎡

調査担当者 三石 宗一

立地と経過

国蔵山古墳は佐久市大字岩村田に所在する。この付近は、北方からのびる田切り台地が消滅し、田切りの谷から押し出された堆積土による低湿地が広がっている地域である。今回の試掘調査地点は、国蔵山古墳の東側に隣接し、標高約694mを測る。

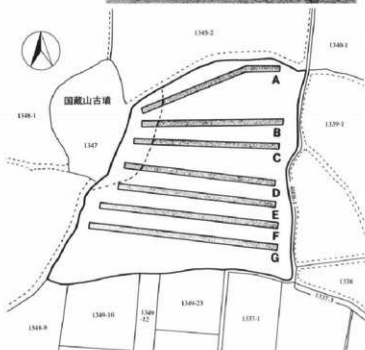
今回、株式会社平和不動産により宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

開発予定地内にA～Gの東西7本のトレンチを掘り下げ、遺構の確認を行った。調査の結果、調査区は、国蔵山古墳に接するA～Dトレンチの西端部を除くほぼ全体が低湿地内にあたり、遺構・遺物ともに確認されなかった。



国蔵山古墳1 (隣接) 位置図 (1:10,000)



国蔵山古墳1 (隣接) 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

48 円正坊遺跡群 1 (隣接)

所在地 佐久市大字岩村田字田中 1328-1、1329-2
開発主体者 クロスロード開発株式会社
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成9年3月25・26日
面積 2,997㎡
調査担当者 三石 宗一

立地と経過

円正坊遺跡群は佐久市大字岩村田中に所在し、北方からのびる田切り地形による台地が低湿地と接する部分に立地する。当遺跡群内では昭和53年度に清水田遺跡、平成8年度に円正坊遺跡Ⅱの発掘調査が行われ、弥生時代中期から平安時代の竪穴住居址等が調査されている。今回の調査地点は遺跡群の南西部に隣接し、標高697m付近に位置する。

今回、クロスロード開発株式会社により宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

開発予定地内に東西6本のトレンチを掘り下げ、遺構の確認を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。調査区は全体が低湿地内にあたり、円正坊遺跡群が存在する、北方からの田切り台地は、今回の調査地付近で消滅するものと思われる。



円正坊遺跡群 1 (隣接) 位置図 (1:10,000)



円正坊遺跡群 1 (隣接) 調査全体図 (1:1,000)

立会い調査

49 上の城遺跡群

所在地 佐久市大字岩村田字中八日町3107-2他

開発主体者 森泉 博夫

開発事業名 共同住宅新築工事

調査期間 平成8年10月22日

面積 102㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

上の城遺跡群は佐久市岩村田の南、湯川の段丘上に所在する。付近の標高は705mを測り、周辺で調査された遺跡としては西八日町遺跡・上の城遺跡などがある。

今回、森泉博夫氏により共同住宅新築工事が計画され、教育委員会に遺跡有無の照会があった。教育委員会では、工事設計書をもとに検討した結果、削平の深さが極めて浅い為立ち会い調査として実施する事となった。

調査の結果

建物基礎部分において精査を行い、遺構の有無の確認をおこなった。その結果、基礎工事部分の削平深さは地表より20～30cmで、当遺跡の遺構確認面である表土下50～60cmまでには達していなかった。その為、工事部分における遺構の確認はできなかった。よって、工事による遺跡への影響はないと判断された。



上の城遺跡群位置図 (1:10,000)



調査地点遠景(西より)



建物基礎部分近景(東より)

立会い調査

西大久保遺跡群 50 棧敷遺跡

所在地 佐久市大字上平尾地籍西大久保338外
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 県単道路改良
調査期間 平成8年11月12日
面積 1,880㎡
調査担当者 須藤 隆司



西大久保遺跡群・棧敷遺跡 位置図 (1:1,000)

立地と経過

西大久保遺跡群は佐久市大字上平尾地籍に所在し、縄文時代から平安時代までの遺物が確認されている。また、棧敷遺跡は佐久市大字安原地籍に所在し、平安時代の遺物が確認されている。

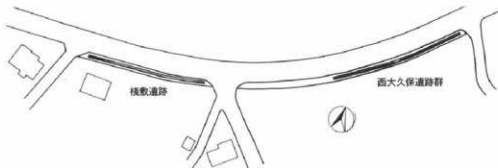
今回、両遺跡内に佐久建設事務所が道路改良事業を計画したため、立会い調査を実施した。



西大久保遺跡群・棧敷遺跡 調査トレンチ

調査の結果

調査地点は、北方に湯川を臨む台地縁辺部である。道路拡幅部分にトレンチを設定し、確認調査を行ったが、両遺跡において遺構・遺物ともに検出されなかった。



西大久保遺跡群・棧敷遺跡 調査全体図 (1:1,500)

立会い調査

51 根々井大塚古墳

所在地	佐久市大字根々井1182-2
開発主体者	佐久建設事務所
開発事業名	県単道路改良
調査期間	平成8年11月13日
面積	165.79m ²
調査担当者	須藤 隆司



根々井大塚古墳 位置図 (1:1,000)

立地と経過

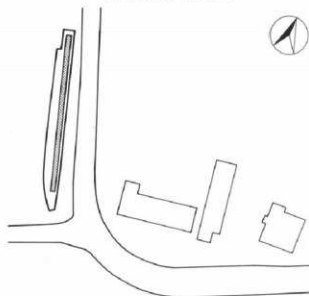
根々井大塚古墳は佐久市大字根々井地籍に所在する。本古墳は、景観上は直径56m・高さ10m程の大規模な円墳を呈している。今回、佐久建設事務所が本古墳の南側に道路改良事業を計画したため、立ち会い調査を実施した。

調査の結果

現状での墳端部まで調査を行ったが、周溝等の古墳の施設及び他の遺構・遺物は確認されなかった。それは、本古墳の大半が浅間山起源の岩屑流である塚原泥流によって形成された「流れ山」で構成されていることに起因する。したがって、本流れ山が古墳であるとするならば、頂上部付近にその存在が想定されることとなった。その点は、平成9年度に頂上部の試掘調査が行われ、本古墳は流れ山の頂上部に形成された長軸16m程の方形を呈する弥生時代終末期の墳丘墓であることが判明した。



根々井大塚古墳 調査トレンチ



根々井大塚古墳 調査全体図 (1:1,000)

立会い調査

52 光明寺遺跡

所在地 佐久市大字安原1672-3
開発主体者 安養寺代表役員 田島 亮忠
開発事業名 墓地造成
調査期間 平成8年11月20日
面積 196㎡
調査担当者 上原 学



光明寺遺跡位置図 (1:10,000)

立地と経過

光明寺遺跡は佐久平の東端、丘陵地との境付近に位置する。調査区付近の標高は704mを測る。

今回、安養寺による墓地造成工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に2本のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物ともに認められなかった。



光明寺遺跡近景 (北から)



光明寺遺跡近景 (南から)



光明寺遺跡全体図 (1:1,000)

立会い調査

53 根々井居屋敷遺跡群

(根々井館跡)

所在地 佐久市大字根々井字亀田626-1,627

開発主体者 天神山正法寺

開発事業名 擁壁工事

調査期間 平成8年12月13日

面積 70㎡

調査担当者 羽毛田卓也



根々井居屋敷遺跡群位置図 (1:10,000)

立地と経過

根々井居屋敷遺跡群は蛇行する湯川の北側に展開する弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡である。今回の調査地点は、遺跡群のはほぼ中央に位置する県史跡「根々井館跡」の南端にあたり、平成7年度に試掘調査実施した地区の南辺にあたる。

今回天神山正法寺が行う擁壁工事にとまない、立会い調査を実施した。

調査の結果

平成7年の調査では遺構・遺物ともに検出されているため、工事部分すべてを遺構の検出が予想される2面まで慎重に掘削を行った。埋土を含めた表土を25～82cm剥くと炭化材微小片を含む褐色粗砂層が出現し、

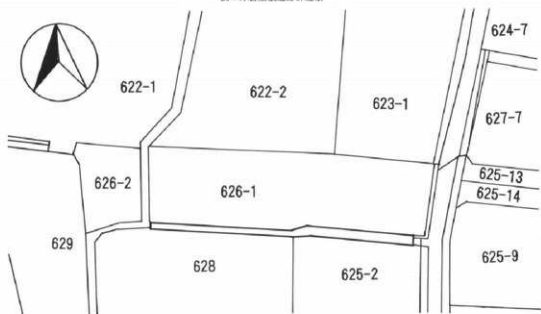


トレンチ掘削状況

精査を行った結果、中近世の陶磁器・硯片・土鍋片・瓦器などの遺物がトレンチ掘削状況出土したが、遺構は検出されなかった。褐色色粗砂層を40cm前後剥ぐと黄褐色砂層が現れ、精査を行った結果、古代の甕の破片が出土したが、遺構は検出されなかった。



根々井居屋敷遺跡群近景



根々井居屋敷遺跡群トレンチ設定図（1：500）

立会い調査

54 前田遺跡群 1

所在地	佐久市大字塚原 1228-5 外
開発主体者	佐久市（新幹線高速道課）
開発事業名	市道改良事業
調査期間	平成 8 年 11 月 21 日 平成 9 年 1 月 29 日・2 月 18 日
面積	7,293 m ²
調査担当者	三石 宗一

立地と経過

前田遺跡群は佐久市大字塚原に所在し、標高665～685mを測る。当遺跡群の北方には姫子石古墳群、東方には宮の塚古墳が存在する。平成8年度には、市道12-1号線改良事業に伴い、姫子石遺跡の発掘調査が行われ、中世から近世と考えられる溝状遺構9条、竪穴状遺構1基、土坑25基等が調査されている。

今回、佐久市新幹線高速道課により、市道8-2号線道路改良事業として道路の拡幅が計画されたため、立会い調査を実施した。

調査の結果

平成8年11月21日に拡幅部分東側、平成9年1月29日に拡幅部分西側、2月18日に現道部分について、立会い調査を行った。調査の結果、遺構・遺物ともに確認されなかった。



前田遺跡群1位置図 (1:10,000)



調査区近景 (西方から)

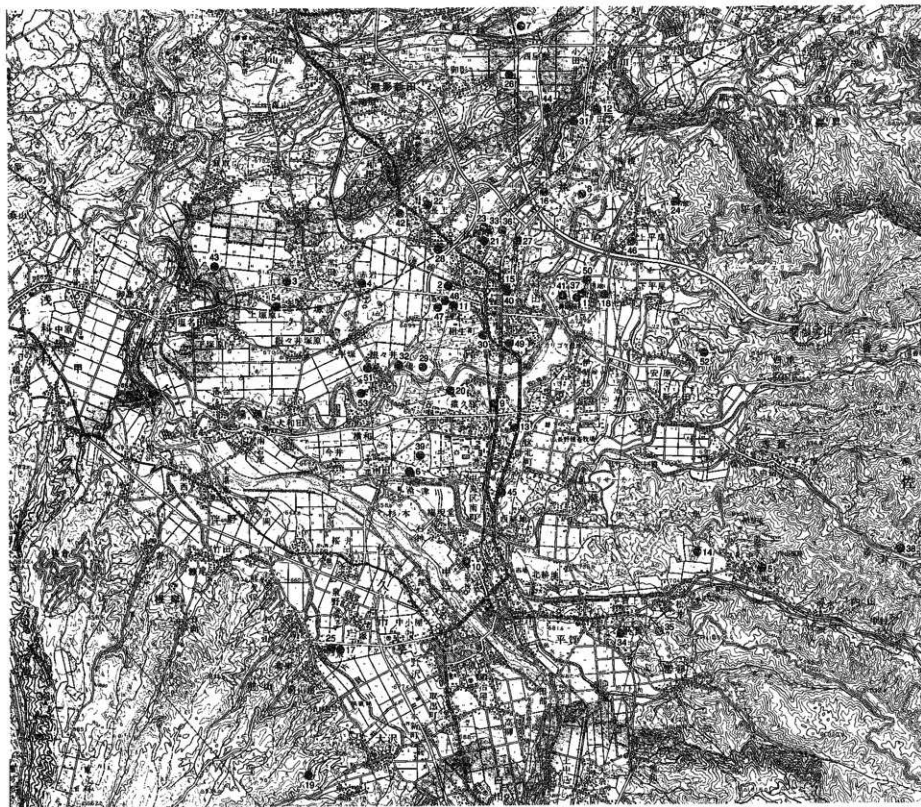


前田遺跡群1調査区 (1:5,000)

1996年度（平成8年度）市内遺跡発掘調査一覧表

1996年度(平成8年度)市内遺跡発掘調査一覽表

No	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業者	発掘面積(m ²)	保護措置	調査期間	担当者
1	浅敷遺跡	昭和不動産(株)	安原	宅地造成	1,589	試掘	4.4	羽毛田
2	正坊遺跡	中等電力株式会社	岩村田	送電線	216	試掘	4.22	富沢
3	雲田店埋藏遺跡	佐藤三子男	深塚	アパート建設	1,575	試掘	4.24	富沢
4	岩田町埋藏遺跡	池田敦一	深塚	改定工事	1,461	試掘	4.24	羽毛田
5	城下遺跡群	(有)長興寺	内山	墓地造成	897	試掘	5.16・17	新名田
6	中原遺跡群10	織部 浩・やえ子	今井	新阿比木建設	1,024	試掘	5.25・26	林
7	下藤田埋藏遺跡	(株)藤尾業	小田井	工場造成	2,001	試掘	6.4	羽毛田
8	神取遺跡群	(有)新鋭開発	横塚	宅地造成	1,858	試掘	6.5	横塚
9	藤原遺跡群1	(株)ほしまん	藤久保	店舗建設	2,593	試掘	6.5	横塚
10	永副加	北久小學生課	中込	児童館建設	1,461	試掘	6.6	林
11	正坊遺跡群2	(株)平和不動産	岩村田	宅地造成	1,462	試掘	6.70~28	富沢
12	中金井遺跡群	(株)システム・ワン	小田井	社屋新築	1,842	試掘	7.3	上原
13	赤塚遺跡群II	(株)ヤマダ電気	藤久保	店舗建設	2,738	試掘	7.4・5	林
14	坪の内遺跡	(有)砂塚建設	内山	進入路建設	225	試掘	7.18~19	富沢
15	岩村田遺跡群	(有)三井倉	岩村田	香露園管理施設	8,029	試掘	8.2	横塚
16	北久保遺跡群	(株)新築建設	岩村田	住宅販売場	811	試掘	8.8	上原
17	中込遺跡	(株)光佑建設	前山	宅地造成	1,592	試掘	8.9	富沢
18	西大久保遺跡群	新久市土地開発公社	下平塚	宅地造成	4,878	試掘	8.27~29	横塚
19	一丁田遺跡	(株)安井建設	大沢	宅地造成	29,611	試掘	8.29~9.10	富沢
20	中塚遺跡群	(株)小倉沢商店	藤久保	石油タンク	919	試掘	9.6	羽毛田
21	北久保遺跡群	住建	岩村田	宅地造成	2,080	試掘	9.9	上原
22	岡崎跡1	千曲酒造株式会社	長上岳	観光酒蔵新築	6,800	試掘	9.11~17	小林
23	北久保遺跡群	(有)所澤不動産	岩村田	宅地造成	2,176	試掘	9.25	羽毛田
24	大沢遺跡1	北久市農林課	上平塚	果樹園地造成	6,000	試掘	10.7~9	三石
25	中込遺跡	北久市	前山	市営住宅建設	10,248	試掘	11.13~14	富沢
26	神取遺跡群	北久建設事務所	小田井	道路改良	1,980	試掘	11.24	横塚
27	岩村田遺跡群	(株)大塚屋	岩村田	店舗増築	1,174	試掘	11.21	横塚
28	長上岳遺跡群	北久市	長上岳	公園整備	816	試掘	11.21	富沢
29	中塚の久保遺跡群	学校法人 北久学園	岩村田	グラウンド造成	29,907	試掘	11.26~28	小林
30	一本橋遺跡群	(株)平和不動産	岩村田	宅地造成	2,473	試掘	11.28~29	横塚
31	神取遺跡群	大沢不動産株式会社	小田井	住宅住宅建設	1,674	試掘	12.3	上原
32	北里田遺跡	長野県土地開発公社	横々井	商業管線調査	3,300	試掘	12.6	三石
33	岩村田遺跡群	日本道路公社	岩村田	農地造成	11,630	試掘	12.9~12	横塚
34	北谷津遺跡1	(株)ア・トクロス	平賀	宅地造成	1,419	試掘	12.10	林
35	滝遺跡	(有)中央不動産	平賀	宅地造成	1,722	試掘	12.11	富沢
36	北久保遺跡群	(有)サンコー地所	岩村田	宅地分譲	822	試掘	12.13	上原
37	浅敷遺跡	宮七ヶ島株式会社	安原	事務所・倉庫建設	1,709	試掘	12.18	上原
38	地ノ入遺跡	北久建設事務所	北久	道路整備	5,400	試掘	12.18	横塚
39	中原遺跡群	(株)石井商会	中込	事務所・倉庫建設	2,975	試掘	1.14	小林
40	岩村田遺跡群	(株)三倉倉	岩村田	病院建設	450	試掘	1.14	富沢
41	上小平遺跡	西本林業株式会社	岩村田	牧場造成	2,138	試掘	1.16	上原
42	南谷津遺跡	(株)アメック	長七岳	宅地造成	2,020	試掘	1.16~17	三石
43	南塚遺跡	コトヒラ工業株式会社	前田	工場建設	9,509	試掘	1.20~27	横塚
44	青沢城遺跡	(株)平和不動産	小田井	宅地造成	1,394	試掘	1.21	上原
45	大塚遺跡群1	モービル石造株式会社	中込	ガソリンスタンド建設	1,450	試掘	1.23	三石
46	北久保遺跡群	一興電子工業株式会社	上平塚	工場新築工事	1,473	試掘	1.28	富沢
47	同古川古蹟1	(株)平和不動産	岩村田	牧場造成	2,704	試掘	3.24・25	三石
48	正坊遺跡群1	クロスロード開発株式会社	岩村田	宅地造成	2,907	試掘	3.25・26	三石
49	上ノ城遺跡群	高塚博次	岩村田	共同住宅新築工事	102	立会	10.22	富沢
50	浅敷遺跡	北久建設事務所	上平塚	道路改良	1,880	立会	11.12	横塚
51	堀ヶ井大塚古蹟	北久建設事務所	堀ヶ井	道路改良	166	立会	11.13	横塚
52	光明寺遺跡	安楽寺	安原	墓地造成	196	立会	11.20	上原
53	堀ヶ井北里田遺跡群	天神山正法寺	堀ヶ井	補修工事	70	立会	12.13	羽毛田
54	前田遺跡群	北久市	横塚	市道改良	7,293	立会	1.29・2.18	三石



付圖 1996年度市内遊歩路開定位置図 (1:50,000)

佐久市埋蔵文化財調査報告書

- 第1集『金井城跡』
第2集『市内遺跡発掘調査報告書1990』
第3集『石附堂社Ⅲ』
第4集『大みけ』
第5集『立科F遺跡』
第6集『上曾根遺跡』
第7集『三貫畑遺跡』
第8集『蔵の下遺跡』
第9集『国道141号線関係遺跡』
第10集『望原遺跡Ⅱ』
第11集『赤忠垣外遺跡』
第12集『若宮遺跡Ⅱ』
第13集『上高山遺跡Ⅱ』
第14集『栗毛坂遺跡』
第15集『野島久保遺跡』
第16集『石並遺跡』
第17集『市内遺跡発掘調査報告書1991』(1—3号)
第18集『西曾根遺跡』
第19集『上芝宮遺跡』
第20集『下聖墳遺跡Ⅲ』
第21集『金井城跡Ⅲ』
第22集『市内遺跡発掘調査報告書1991』
第23集『南上・中原・南下中原遺跡』
第24集『上空塚遺跡』
第25集『上久保田Ⅳ』
第26集『藤塚古墳群・藤塚Ⅱ』
第27集『上久保田Ⅲ』
第28集『曾根新城Ⅴ』
第29集『山法師遺跡B・筒村遺跡B』
第30集『市内遺跡発掘調査報告書1992』

- 第31集『山法師遺跡A・筒村遺跡A』
第32集『東ノ洞』
第33集『望原遺跡Ⅳ・下曾根遺跡Ⅰ・前藤部遺跡Ⅰ』
第34集『西一本柳遺跡Ⅰ』
第35集『市内遺跡発掘調査報告書1993』
第36集『蛇塚B遺跡Ⅲ』
第37集『西一本柳遺跡Ⅱ・中西ノ久保遺跡』
第38集『南下中原遺跡Ⅱ』
第39集『中屋敷遺跡』
第40集『寺畑遺跡』
第41集『曾根新城Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
上久保田向遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
西曾根遺跡Ⅱ・Ⅲ』
第42集『寄山』
第43集『権現平遺跡』
第44集『寺浜遺跡』
第45集『市内遺二跡発掘調査報告書1994』
第46集『濁り遺跡』
第47集『上芝宮遺跡Ⅴ』
第48集『池瀬城跡』
第49集『根々井芝宮遺跡』
第50集『藤塚遺跡Ⅳ』
第51集『寺中遺跡・中屋敷遺跡Ⅱ』
第52集『坪の内遺跡』
第53集『円正坊遺跡Ⅱ』
第54集『市内遺跡発掘調査報告書1995』
第55集『番屋前遺跡』
第56集『望原遺跡Ⅴ』
第57集『高師町遺跡Ⅱ』
第58集『下穴虫遺跡Ⅰ』

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第59集

市内遺跡発掘調査報告書1996

1998年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-0051 長野県佐久市大字中込3056

埋蔵文化財課

〒385-0006 長野県佐久市大字志賀5953

TEL0267-68-7321

印刷所 プリントハウス キクハラインク

